

# 令和3年度（2021年度） 西宮教育推進の方向（概要版）

西宮市教育委員会は、市のまちづくりの目標である「未来を拓く 文教住宅都市・西宮～憩い、学び、つながりのある美しいまち」を実現するために、「夢はぐくむ教育のまち西宮」を教育推進の理念に掲げ、西宮教育の振興に取り組みます。

「西宮教育推進の方向」では、西宮市における「教育振興基本計画」の行動指針として、様々な取り組み内容などを記載しています。

## 西宮市における「教育大綱」

平成27年4月施行の改正地方行政法において、教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針として、市長に大綱の策定が義務付けられました。現行の大綱は、これまでの教育理念を再確認し、そこで出てきた子供とそれを取り巻く大人の課題を中心にとりまとめたものを大綱と位置づけ、子供を中心としたこれからの教育・子供施策の礎となるものとして、平成28年（2016年）11月に策定されました。

その後実施された新学習指導要領では2030年頃の社会のあり方や、その先を見通した姿を想定しており、大綱も同様に新しい時代へ対応するとともに、知・徳・体のバランスのとれた学校教育や、地域社会との関わり、生涯学習など、教育行政における幅広い目配りが必要となることから、令和3年（2021年）3月に西宮市教育大綱が改定されました。

## 大綱改定のポイント

現行の教育大綱の趣旨を受け継ぎながら、必要な要素・考え方が付け加えられました。

現  
行  
の  
教  
育  
大  
綱

### ◆改定の基本的な考え方

シチズンシップの醸成・さまざまな主体の参画

### ◆「めざす教育」のために付け加えた考え方

「知・徳・体」をバランスよく育むとともに、世界が大きく変わる中で、さまざまな人と協働しながら、新しい価値を生み出すことや、がまん強く、ものごとに取り組んでいくことなどのめざす教育に向けた考え方を盛り込みました。

### ◆「めざすまちのすがた」のために付け加えた考え方

自分を大切にするとともに、他の人ともコミュニケーションをとりながら地域の一員として暮らし、育つことができる。また、教育の機会が保障され、多様なニーズにも対応できるとともに、幼児期から大人に至るまで、生涯学び続けられることなど、めざすまちの姿に向けた考え方を盛り込みました。

改  
定  
教  
育  
大  
綱

総合教育会議、子ども・子育て会議、有識者ヒアリング、市民アンケート、子ども未来カフェ(市民参加ワークショップ)などでいただいた意見を参考

## 西宮市教育大綱

豊かな自然と伝統に恵まれた文教住宅都市・西宮では、「夢はぐくむ教育のまち」の理念の下、いまを生き、そして未来の主演である子供が、確かな学力、豊かな心、健康・体力という「生きる力」を育み、それぞれの夢の実現をめざしてきました。このような西宮の教育の大切な部分はこれからも変わることはありません。

子供は、学校だけではなく、地域でのさまざまな体験を通して、見識を深め、主体的に多くの人と交流するなか、お互いを認め合い、育っていく存在です。そのためにも、大人は一人ひとりの子供をかけがえのない存在として、愛情と敬意と寛容さをもって接し、慈しむことがとても大切です。

私たちを取り巻く世界は、技術革新が進む一方で、社会・環境も大きく変化し、将来予測が困難な時代を迎えています。このような時代だからこそ、一人ひとりが努力を積み重ね、知恵を出し合い、さまざまな人たちと力をあわせ、人間ならではの感性や想像力を活かし、未来を切り拓いていくことが求められています。

私たちは、このような視点に立ち、一人ひとりを大切にしながら、たくましさとしなやかさを持ち、未来の西宮、未来の世界に向かって生きる人間を育てるまちをめざします。

第一に、市民一人ひとりが個人として尊重され、乳幼児期から家庭や地域の温かい見守りと信頼の中で、思いやりと自分を大切にす気持ち、自立心を育むまちであること。

第二に、市民一人ひとりが自分らしい形で社会の中で共に生き、コミュニケーションをとり、支え合いながら、それぞれの役割と居場所が見つけられるまちであること。

第三に、市民一人ひとりがおかれた環境や状況などに関わりなく、必要とする教育を受ける機会とそのために必要な支援を受けられるまちであること。

第四に、市民一人ひとりが乳幼児期から質の高い教育・保育を受け、その後の学校での各教科等の学習や、豊かな体験活動を通して、生きる力を培っていけるまちであること。

第五に、市民一人ひとりが生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学び続け、その成果を適切に生かすことを通じて、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるようなまちであること。

「夢はぐくむ教育のまち」をめざす西宮市は、子供と大人に対してそれぞれ共にめざしたい姿をここに示し、これを今後の教育・子供施策の礎とします。

### 【西宮の子供たちへ】

- ① 自分自身を信じて、新しいことや自分の目標に挑戦する勇気を持ちましょう。
- ② やってみてうまくいかないときも、落ち着いて、そこからどうすればいいか考えましょう。
- ③ 広い視野で物事を捉え、自分の言葉で自分の考えを表現しましょう。
- ④ 一人ひとりのさまざまな考え方や価値観を認め合い、大切にしましょう。
- ⑤ 私たち一人ひとりの気持ちや行動が社会をつくることを意識し、社会の一員として思いやりを持ち、行動しましょう。
- ⑥ 私たちが暮らす西宮や日本の自然や伝統文化に親しみ、ふるさとへの誇りを持ちましょう。
- ⑦ 規則正しい健康的な生活を心がけ、楽しく遊び、いろいろな体験を試みましょう。

### 【西宮の大人たちへ】

- ① 子供の興味や意欲に気付き、それを深めたり挑戦したりすることを応援し、見守りましょう。
- ② 子供の挑戦がうまくいかないときもそれを受け止め、子供の判断を尊重し、共に考える姿勢を持ちましょう。
- ③ 自分の期待や特定の考え方を押しつけないで、子供の話にじっくり耳を傾けましょう。
- ④ さまざまな文化や価値観を持つ人との出会いやそこから得られる気づきを大切に、違いを認め合える社会づくりを進めましょう。
- ⑤ 社会の一員として、何ができるかを考え、行動し、子供の模範となるよう心がけましょう。
- ⑥ 子供が過ごし、育つ地域や日本の四季や伝統文化を感じられる機会をつくりましょう。
- ⑦ 子供のこころと身体の成長に気を配り、さまざまな体験ができる機会をつくり、共に学び続けましょう。

# 令和3年度(2021年度)西宮教育の推進方針

## 子供・子育て支援

### 乳幼児期の教育・保育環境の充実

幼児教育は生涯における教育の根幹をなすものであり、乳幼児期における公立幼稚園の役割として、直接体験することの大切さ、体験を通じた遊びからの学びなど、これまで本市が培ってきたものを継承していきます。



幼保認小体験交流会



みやこ「つながり」カリキュラム

## 学校教育

### 幼稚園教育の充実

教育活動全体を通してはぐくむ資質・能力が「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」として示されています。

各領域で示されたねらい及び内容に基づく活動全体を通して、これらの姿が現れるよう研究及び実践を進めます。



リレーの作戦会議を通して「伝え合う力」をはぐくむ  
(付属あおぞら幼稚園)

### 小学校・中学校教育の充実

各教科等の指導においては、「主体的・対話的で深い学び」を目指し研究を進めます。また、学習評価について子供たちが学習の成果を的確に捉えることができるよう、単元や題材のまとまりでの評価活動、パフォーマンス評価等の研究を進めます。

さらに、学習評価が子供の学びの評価のみにとどまらず、教育課程や学習・指導方法の改善・発展にもつながるよう、カリキュラム・マネジメントの一環としての研究を進めます。



ALTや地域人材を活用して英語によるコミュニケーション能力の素地を養う(甲東小学校)



外国語で自分自身の考えや気持ちなどを伝え合う対話的な活動を行う(西宮浜義務教育学校)



「小学校プログラミング教育スタートブック」の活用



トライやる・ウィークの一環として募金活動を行うことで、社会に生きる一員としての意識を高める。(深津中学校)

## <特集> GIGAスクール構想

令和3年度からのGIGAスクール構想の本格実施に向け、関連する施策が総覧できるものとして取りまとめた「GIGAスクール・スタートパッケージ」に基づき、児童生徒及び教職員に対する支援や環境整備等を進めています。「すぐにでも」「どの教科でも」「誰でも」取り組めるよう、実践に基づく知見を集め、研究を進めていきます。

### ◇1人1台端末の活用例

#### 教員による教材の提示



教材をタブレットに転送したり、書き込んだりすることで、学習課題の焦点化、知識の定着、理解の補完等に有効です。

#### 個に応じる学習



デジタルドリルなどの教材を活用することで、1人1人の実態に応じた学習を進め、知識・技能の定着を図ることができます。

#### 調査活動



インターネットやデジタル百科事典を活用して、より詳細に必要な情報を得て、学習を進めることができます。

#### 発表や話し合い

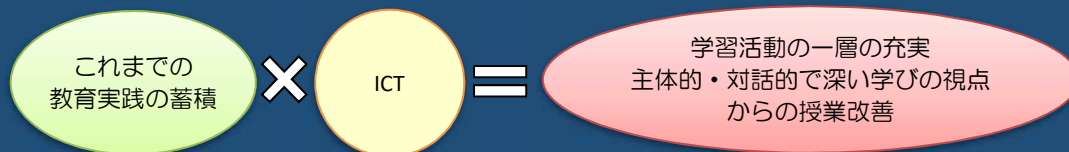


プレゼン資料などを作成して発表等を行うことで、説明する力をつけたり、様々な考えに触れたりすることができます。

◇GIGAスクール構想とは（令和2年5月「GIGAスクール構想の実現へリーフレット」 文部科学省をもとに作成）

1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する

これまでの我が国の教育実践と最先端のICTのベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す



## 高等学校教育の充実

拡大された通学区域の中において、生徒にとって「通いたい、そこで学びたい」と思える学校づくりを進めるために、学習指導、生徒指導、部活動指導をバランス良く充実させます。



商店街の方とのオンライン会議  
(西宮東高校 総合的な探究の時間)



## 特別支援教育の充実

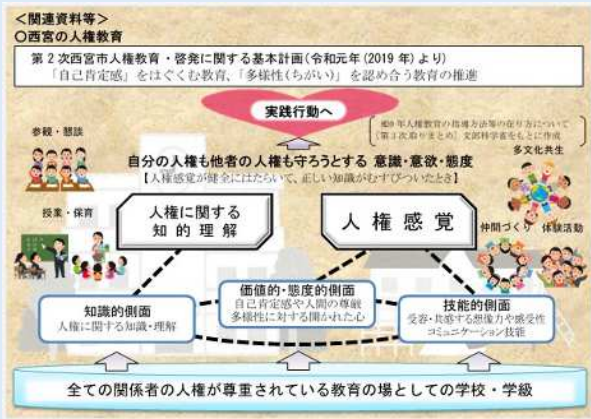
特別支援教育では、共生社会の形成に向けて、インクルーシブ教育システム構築に向けた取組みを推進します。子供一人ひとりの教育的ニーズを把握し、合理的配慮が提供されるよう個別の教育支援計画や個別の指導計画を策定し、適切な指導及び必要な支援を行います。

### （合理的配慮提供のプロセス例）

【P】	意志の表明	本人・保護者からの申し出 担任等の気づき
	調整	本人・保護者の意見等の聞き取り 校内委員会での検討
	決定	本人・保護者と学校との合意形成
【D】	提供	合理的配慮の提供
【C】	評価	本人・保護者との振り返り
【A】	見直し	校内委員会での合理的配慮の見直し

## 心や体の育ちを支える教育活動の充実

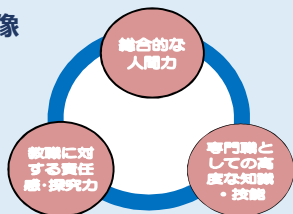
道徳教育や人権教育を中心として豊かな心をはぐくむとともに、体験活動や運動に親しむ機会を提供し、心と体の育ちを支えます。



## 教職員の力量向上と勤務時間の適正化

教職員の研修については、職責、経験や適性に応じて資質向上を図る計画的な研修を実施し、市民から信頼される学校づくりを進めます。

### ◇教師力の全体像



## 学校生活の安全・安心

子供たちが安全な環境の中で、安心して学校生活を送れるよう事案発生時の早期対応と適切に解決する体制整備に取り組み、子供たちが安心して通える魅力ある学校づくりを推進していきます。

### ◇不登校対策の実施

#### 不登校児童生徒支援事業

- 【あすなる学級】  
「あすなる学級なるおきた」  
「一日制・学級制」  
※鳴尾北幼稚園内  
(40名程度) 週4日  
AM9:15～PM2:15
- 「あすなる学級かわらぎ」  
「半日制・学級制」  
※瓦木幼稚園内  
(80名程度) 週4日  
AM9:30～11:30  
PM1:00～3:00
- 「あすなる学級やまぐち」  
「半日制・学級制」  
※山口中学校内  
(30名程度) 週4日  
AM9:30～11:30  
PM1:10～3:10
- 「あすなる学級しおせ」  
※塩瀬公民館内  
(15名程度) 週2日  
PM1:00～3:00

#### 居場所サポーター派遣事業

不登校児童生徒のための「別室指導」を行っている学校への支援

#### その他の取組み

- 不登校に関する研修会の開催
- 「私たちに何ができるか」(教員用資料)
- 不登校に関する情報提供
- 民間施設(フリースクールなど)との連携、施設訪問及び情報交換会の開催
- 学校外の施設に通所する不登校児童生徒の指導要録上の出欠の取扱いに関する件
- 西宮市不登校対策庁内検討委員会
- 西宮市不登校対策連絡協議会
- 不登校児童生徒に係る学習評価等検討委員会

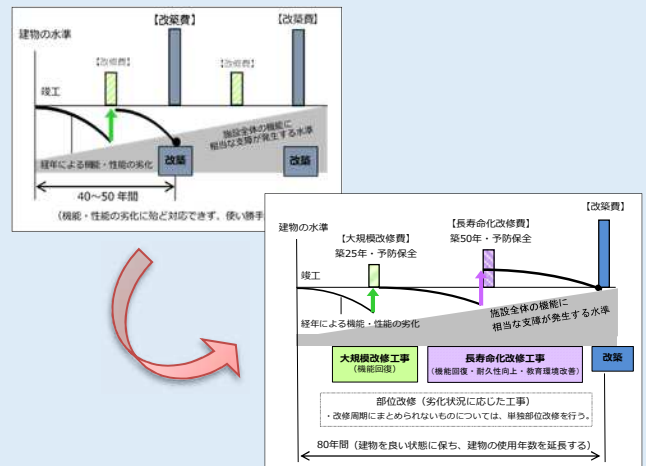
#### 「あすなる学級みらい」(こども支援局 地域・学校支援課)

- 「半日制・少人数制」 週4日  
※西宮市立こども未来センター内 (40名程度)  
AM9:30～11:30 PM1:00～3:00

## 教育環境の整備

「西宮市学校施設長寿命化計画」に基づき、新学習指導要領で求められる子供たちの学びに必要な機能にも配慮しながら、学校施設の計画的・効率的な整備を進めていきます。

### ◇長寿命化のイメージ



## 青少年育成

### 青少年健全育成体制の充実

青少年関係団体に対して適切な活動支援を行うことで、地域における青少年健全育成活動の促進を図ります。また、青少年の生きる力をはぐくむ効果的な体験活動を推進します。



「大阪ガス科学館見学」津門地区

### 留守家庭・放課後等の児童育成

地域の方々の参画を得て放課後子供教室事業を推進し、子供たちが地域の中で、心豊かで健やかにはぐくまれる環境づくりに努めます。また、放課後等に自由な遊び場や学びの場を提供して子供たちの社会性や協調性をはぐくむ子供の居場所づくり事業についても引き続き推進します。

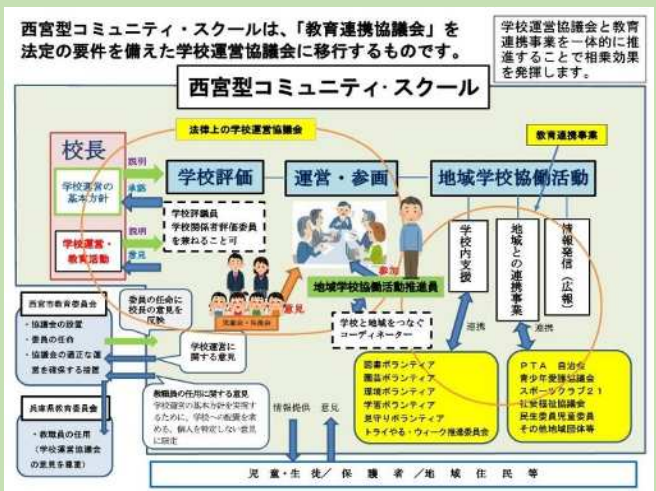


放課後キッズルーム事業の様子（高木北小）

### 地域・家庭の教育力の向上

持続可能な形で、保護者や地域の意見を学校運営に反映することができるしくみである「西宮型コミュニティ・スクール」の導入を進め、協働による地域とともにある学校づくりを通してはぐくまれる絆を地域の活性化につなげていきます。また、家庭教育支援の充実に向けて、保護者に対する多様な学習の機会や情報提供の充実に努めます。

#### ◇西宮型コミュニティ・スクール（イメージ図）



ニュースレター  
「家族の絆」  
2020年春号・秋号

## 人権・多文化共生・平和

### 人権問題の解決

全ての人の人権が尊重され、保障される社会の実現を図るため、「第2次西宮市人権教育・啓発に関する基本計画」に基づき、「人権フォーラム」などの主催事業を開催するとともに、西宮市人権・同和教育協議会への支援と協働に努めます。



令和2年度に発行された  
「第57回西宮市人権・同和教育  
研究集会 実践報告集」



## 生涯学習社会の推進

「学び つながり ささえあうまち ～ 文教住宅都市にしのみや～」を目指す将来像として、令和3年3月に「西宮市生涯学習推進計画」を策定しました。市民一人ひとりが生涯を通じて学び、誰もが学びを通じてつながり、支え合い、安心して暮らすことができる持続可能なまちづくりにつなげていくことを目指します。



## 生涯学習関連施設の機能充実

図書館では、「西宮市立図書館事業計画」に基づき、文教住宅都市にふさわしい情報拠点として、司書の専門性を生かした調査・相談サービスなどを向上させ、「知のインフラ」としての図書館機能の充実に努めます。



市立図書館司書による  
中学校でのブックトーク

公民館では、学習活動を通じた地域づくりの拠点として、地域住民の多様な利用を促進するとともに、生涯学習のコーディネート機能の充実に努めます。



宮水ジュニア  
「科学体験」講座

## 学校教育との連携

子供の教育を、学校にのみ委ねるのではなく、地域人材や大学、民間企業などを活用した、学校教育へのアウトリーチ活動を緩やかにネットワーク化し、多様化・高度化する学習ニーズに対応するなど、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた取組みを進めます。



市立図書館司書と  
中学校図書委員との交流会



西宮ストークスによる学校訪問



西宮湯川記念こども科学教室  
「液体窒素の温度の世界」  
実験の様子



## 文化芸術

### 文化財の保存と活用

文化財の保存・活用を推進し、文化財の価値の維持・向上に努めます。

郷土資料館では、第36回特別展示「街道と生きる―宿駅生瀬の歴史と文化財―」として、市指定文化財浄橋寺文書ほか古地図等を展示します。

名塩和紙学習館では、学校団体の実習・見学受け入れの円滑な実施のほか、紙すき実習講座の工夫に取り組みます。



国指定 西宮神社表大門・大練塀



春休み親子紙すき

## 住民自治・地域行政

### 地域力の向上

公民館における、地域住民による主体的な地域学習の取組みを、今後も継続して実施し、地域人材の育成と地域課題の解決につなげていきます。



「公民館地域学習推進委員会 研究集会」

### コミュニティ拠点施設の有効活用

公民館を含む市民集会施設について、利便性の向上と施設の有効活用に取り組みます。また、公民館の計画的な修繕を行い、施設の良好な状態を維持します。



「中央公民館地域学習推進委員会講座」  
スプリングジャズコンサート